●臨床研修プログラム

・プログラムの特色と目標

特色：1）厚生労働省のカリキュラムを最低限の研修内容とし、研修医各自の研修希望・目標に配慮し、個別的内容を付加したプログラムを設定する研修方法である。

2）当院は、地域の第一線の一般臨床病院であり、疾患領域も偏ることなく、豊富な症例を通じて、急性疾患から慢性疾患まで、多岐にわたる臨床研修ができるプログラムとなっている。

目標：将来どのような専門分野に進むにせよ、外来・病棟・救急各部門の診療ができる資質を備えた総合臨床医（General Physician）を2年間で育成するための臨床研修プログラムである。

・研修方式

1）1年次：必修科目である内科24週以上（糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科 各8週以上）、救急8週以上（内4週までの麻酔科指導医による専門研修。その他、地域における二次救急指定日において、救急専門医（診療支援）、内科系、外科系、小児科の各1名を指導医とした研修体制にて対応する。）、外科4週以上、麻酔科4週以上、小児科4週以上、産婦人科4週以上、精神科4週以上のローテーションとし、補足については、2年次の選択科研修にて対応する。

2）2年次：必修科目である地域医療4週以上のローテーションとし、
救急4週の研修については、1年次同様、二次救急指定日にて対応する。それと1年次の補足以外は選択科研修期間となり、将来専門としたい診療科を中心に関連の診療科を選択する。選択科目により、協力型病院と協力して研修を実施する。

※一般外来研修は、内科および小児科、外科研修時に並行研修にて行い、地域医療研修時に協力型病院にて行い達成する。

※二次救急研修については、2年間を通して、診療科ローテーションとは別枠にてローテーションを組んでの対応とし、翌日の勤務免除とする。

※地域医療研修は、松前町立松前病院・ななえ新病院・八雲総合病院・奥尻町国民健康保険病院（4病院から選択）における地域医療の理解と実践に関する研修にて対応する。

※研修期間中のアルバイト診療は、禁止する。

・研修参加施設

基幹型病院　：　社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院
協力型病院　：　社会医療法人函館博栄会　函館渡辺病院（精神科）
松前町立松前病院（地域医療）
社会福祉法人函館厚生院　ななえ新病院（地域医療）
八雲総合病院（精神科・地域医療）
奥尻町国民健康保険病院（地域医療）
北海道大学病院（一般診療）
函館稜北病院(総合診療)
市立函館保健所（保健・医療行政）
渡島保健所（保健・医療行政）

・研修内容

1）総合診療方式
2）選択科の期間は各専門科でのローテーション研修とする。

・研修評価方法

研修開始に当たり、EPOCを使用し、各研修医に自己評価を行わせる。指導医は随時、研修医の自己評価を点検し、研修医の到達目標が達成されるように援助するとともに、評価を行う。

・プログラム修了の認定

研修を終了した時点で、病院長は臨床研修管理委員会の意見、研修医からの一般的目標達成のための行動目標自己評価を参考に修了を認定し、認定証明書を発行する。

・研修修了後の進路

当院における内科系、外科系、小児科の基幹・関連の専門研修プログラムによる研修が可能である。

●臨床研修分野ごとの研修期間及び臨床研修病院

〔 研修プログラム責任者名および役職 ： 片岡　宙門　　函館中央病院　診療部長 〕

（凡例）

4月　　3月

		4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
1年次	研修分野	内科*2 （糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科 各8週以上）						麻酔科	救急*1 （麻酔科）	小児科 *2	外科	産婦 人科	精神科	救急*1
	研修病院・施設名	函館中央病院（精神科･･･函館渡辺病院・八雲総合病院）												
2年次	研修分野	地域 医療*2	救急*1	自由選択科*3										
	研修病院・施設名	●	函館中央 病院		函館中央病院・北海道大学病院・函館渡辺病院・八雲総合病院									

松前町立松前病院・ななえ新病院・八雲総合病院・奥尻町国民健康保険病院

*1：救急部門研修は、麻酔科（ICU）における挿管・血管確保などの基本手技の習得（8週以上の内4週）および、救急外来（当直）における初期救急医療の現場体験（2年間を通しての輪番日におけるローテーションにて8週分以上）とする。
*2：一般外来研修は、内科および小児科研修時に並行研修にて行い、地域医療研修時に協力型病院にて行い達成する。
*3：将来専門としたい診療科を中心に関連の診療科で研修。選択科目により、協力型病院と協力して研修を実施。

●令和５年度 年間スケジュール

4月　　3月

		4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
1年次	ローテーション（凡例）	内科*2 （糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科 各8週以上）						麻酔科	救急*1 （麻酔科）	小児科 *2	外科	産婦 人科	精神科	救急*1
	共通事項	オリエンテーション												
		救急研修												
		ジャーナルクラブ （毎週火 AM7:30～AM8:20）												
		モーニングレクチャー （毎週水（予備日：金） AM7:30～AM8:20）												
		画像読影クラブ （毎週土 AM7:30～AM8:30）												
		CPC・ケーススタディカンファレンス （年1回以上開催予定）												
		剖検 〔内科ﾛｰﾃ中（受持）⇒助手／見学希望⇒随時〕												
		各診療科におけるカンファレンス												
2年次	ローテーション（凡例）	地域 医療*2	救急*1	自由選択科										
	共通事項	救急研修												
		ジャーナルクラブ （毎週火 AM7:30～AM8:20）												
		モーニングレクチャー （毎週水（予備日：金） AM7:30～AM8:20）												
		画像読影クラブ （毎週土 AM7:30～AM8:30）												
		CPC・ケーススタディカンファレンス （年1回以上開催予定）												
		剖検 〔内科ﾛｰﾃ中（受持）⇒助手／見学希望⇒随時〕												
		各診療科におけるカンファレンス												
全般		臨床研修管理委員会 （毎月一回定例開催）												
		臨床研修病院 合同ﾌﾟﾚｾﾞﾝ			選考試験	ﾏｯﾁﾝｸﾞ 中間公表	ﾏｯﾁﾝｸﾞ 決定	仮契約					臨床研修病院 合同ﾌﾟﾚｾﾞﾝ	
		実習生受入												
					図書の 選定					図書の 選定				

様式 10

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和 5 年 4 月 28 日

都道府県知事　殿

病院名　社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院
開設者　社会福祉法人函館厚生院

医師法第 16 条の２第１項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第９条に基づき、①．研修プログラムの変更、２．研修プログラムの新設を届け出ます。
（研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に〇をつけてください。）

①. 基幹型臨床研修病院　２. 協力型臨床研修病院　（報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に〇をつけてください。）

・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－１－

病院施設番号：030952　　臨床研修病院の名称：　社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院

記入日：西暦　2023 年　4 月　28 日

病院施設番号 （基幹型、協力型記入） 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。	030952	臨床研修病院群の名称 （基幹型、協力型記入） 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称　函館中央病院 番号　0309527

作成責任者の氏名及び連絡先 （基幹型、協力型記入） 本報告書の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	ﾌﾘｶﾞﾅ　クボタ　オサム 氏名（姓） 久保田	（名） 修	役職　臨床研修管理室　課長 （内線　6184　） （直通電話（　0138　）　52―1231　） e-mail：　resident@hakochu-hp.gr.jp （携帯電話のメールアドレスは不可とします。）

１．病院の名称 （基幹型、協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　シャカイフクシホウジンハコダテコウセイイン　ハコダテチュウオウビョウイン 社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院
２．病院の所在地及び二次医療圏の名称 （基幹型・協力型記入）	〒　0 4 0-8 5 8 5　（　北海　都・道・府・県） 函館市本町 33 番 2 号 電話：(0138) 52―1231　ＦＡＸ：(0138) 54―7520 二次医療圏 の名称：南渡島
３．病院の開設者の氏名（法人の名称） （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　シャカイフクシホウジン　ハコダテコウセイイン 社会福祉法人　函館厚生院
４．病院の開設者の住所（法人の主たる事務所の所在地） （基幹型・協力型記入）	〒　0 4 0-0 0 1 1（　北海　都・道・府・県） 函館市本町 34 番 8-1 号 電話：（　）　―　ＦＡＸ：（　）　―
５．病院の管理者の氏名 （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　モトハシ　マサトシ 姓：本橋　名：雅壽
６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 （基幹型記入）	＊　別紙１に記入 研修管理委員会の全ての構成員（協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。）について記入してください。
７．病院群の構成等 （基幹型記入）	＊　別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。
８．病院のホームページアドレス （基幹型・協力型記入）	http:// www.chubyou.com/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号：030952　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院

		※	
９．医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤：　84 名、非常勤（常勤換算）：　10 名 計（常勤換算）：　94 名、医療法による医師の標準員数：　37.5 名 ＊　基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式３に記入
10．救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦　2022 年 04 月 01 日、告示番号：第　229 号
	医療計画上の位置付け		１．初期救急医療機関　(２) 第二次救急医療機関　３．第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無		(１) 有　（　84950　）m^2　０．無
	救急医療の実績		前年度の件数：5713 件（うち診療時間外：4303 件） １日平均件数：15.7 件（うち診療時間外：11.8 件） 救急車取扱件数：3378 件（うち診療時間外：1968 件）
	診療時間外の勤務体制		医師：　3 名、看護師及び准看護師：　4 名
	指導を行う者の氏名等		＊　別紙４に記入
	救急医療を提供している診療科		内科系（(１) 有　０．無）　外科系（(１) 有　０．無）　小児科（(１) 有　０．無） その他（　）
11．医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1.一般：527 床、2.精神：0 床、3.感染症：0 床 4.結核：0 床、5.療養：0 床
12．診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			＊　別紙２に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度のの前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13．病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）			1.一般：12.1 日、2.精神：．日、3.感染症：．日 4.結核：．日、5.療養：．日
14．前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			正常分娩件数：　242　件、異常分娩件数：　309　件
15．臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績：　1　回、今年度見込：　2　回　※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記入
	指導を行う病理医の氏名等		＊　別紙４に記入
	剖検数		前年度実績：　1　件、今年度見込：　10　件
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室　(１) 有 ０．無　（　）大学、（　）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16．研修医のための宿舎及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舎		１．有（単身用：　戸、世帯用：　戸） (０) 無（住宅手当：　60000　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室		(１) 有（　１　室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17．図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		（　61.679　）m^2
	医学図書数		国内図書：　6450　冊、国外図書：　2287　冊
	医学雑誌数		国内雑誌：　54　種類、国外雑誌：　59　種類
	図書室の利用可能時間		0：00　～　24：00　24 時間表記
	文献データベース等の利用環境		Medline 等の文献データベース（(１) 有　０．無）、教育用コンテンツ（１．有　(０) 無）、 その他（　） 利用可能時間（　0：00　～　24：00　）24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター（１．(有)　０．無）、 その他（　）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－３－

病院施設番号：030952　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院

18. 病歴管理体制 （基幹型・協力型記入）	病歴管理の責任者の氏名及び役職		ﾌﾘｶﾞﾅ　イセ　ミキ 氏名（姓）伊勢　（名）美樹 役職　医療情報課課長
	診療に関する諸記録の管理方法		１．中央管理　２．各科管理 その他（具体的に：　中央管理と各科管理　）
	診療録の保存期間		（　10　）年間保存
	診療録の保存方法		１．文書　２．電子媒体 その他（具体的に：平成 23 年以前は文書、以降は電子媒体　）
19. 医療安全管理体制 （基幹型・協力型記入）	安全管理者の配置状況		(1.) 有（　1　名）　０．無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。
	安全管理部門の設置状況		職員：専任（　1　）名、兼任（　4　）名 主な活動内容：当院における医療安全管理システムのヘッドコントローラーとしての役割を果たすべく、「医療安全管理委員会」「インシデント分析・対策部会」「リスクマネージャー（各職域担当者）会議」の活動状況の把握・評価並びにアクシデント発生時の対応（現場支援、院内医療事故調査委員会、重大インシデント・医療紛争検討会の招集等）の他、安全管理全般の運用に関する事項
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況		患者相談窓口の責任者の氏名等： ﾌﾘｶﾞﾅ　サイトウ　ナオタカ 氏名（姓）　斉藤　（名）　尚孝 役職　医療安全管理室長（診療部長 対応時間（　9：00　～　17：00　）24 時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無：(1.) 有　０．無
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		(1.) 有　０．無 指針の主な内容：当院における医療安全管理システムは、医療安全管理委員会を中心に、各職域からのレポートを集約・分析するインシデント分析部会とその報告を各職域担当者に周知徹底するチーム会議から構成され、患者様やご家族に「質の高い最善の医療の提供」を最大の目的とする。
	医療に係る安全管理委員会の開催状況		年（　12　）回 活動の主な内容：次の事項について、調査、立案、審議を行う。◇院長並びに GRM からの諮問事項◇レポートの再分析◇分析結果を基にした問題点の改善・対処法の策定◇各職域チームの活動状況の把握・再評価◇医療安全に関する基本の周知並びに全職員への意識啓発◇その他、安全管理全般の運用に関する事項
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		年（　2　）回 研修の主な内容：「新採用者オリエンテーション」「MRI 磁力体験会」の年 2 回の他、年間研修計画により、全職員対象・看護部対象など様々な研修を実施
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策		医療機関内における事故報告等の整備：(1.) 有　０．無 その他の改善のための方策の主な内容：各職域からのインシデント・アクシデントレポートについて分析を実施し、医療安全管理委員会・インシデント分析部会において対策等の立案を行い、チーム会議にて各担当者へ報告し、各担当者により各職域職員へ周知を図る。医療法第 3 章医療の安全の確保に基づく院内医療事故調査委員会を設置している。

20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 （基幹型・協力型記入）		修了：　4　名 中断：　0　名
21. 現に受け入れている研修医の数 （基幹型・協力型記入）		

	前々年度	前年度	当該年度
１　年	４名	２名	５名
２　年	４名	４名	２名

22. 受入可能定員 （基幹型・協力型記入）	許可病床数（歯科の病床数を除く。）から算出		許可病床数（　527　）床÷10＝（　52　）名
	患者数から算出		年間入院患者数（　10.196　）人÷100＝（　52　）名
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 （基幹型・協力型記入） 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。			1. 精神保健福祉士：　名（常勤：　名、非常勤：　名） 2. 作業療法士：　名（常勤：　名、非常勤：　名） 3. 臨床心理技術者：　名（常勤：　名、非常勤：　名） 9. その他の精神科技術職員： ＿＿＿名（常勤：　名、非常勤：　名）
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 （基幹型記入）			(1.) 有　（評価実施機関名：卒後臨床研修評価機構　（2022 年　9 月　1　日）） ０．無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表　(1.) 有　０．無

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：030952　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 （基幹型記入）			＊　別紙５に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 （基幹型・協力型記入）			女性　１年次研修医（　０　）名　２年次研修医（　０　）名 男性　１年次研修医（　０　）名　２年次研修医（　０　）名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 （基幹型・協力型記入）	院内保育所		院内保育所の有無　（1．有　０．無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください　（ 0時　0分　～　24時　0分） 病児保育　（１．有　０．無） 夜間保育　（1．有　０．無） 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か　（1．可　０．不可）
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助　（１．有　０．無） その他の補助（具体的に：　　）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所　（1．有　０．無） 授乳スペース　（1．有　０．無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）		（　　）
	研修医のライフイベントの相談窓口		１．有　（０．無 窓口の名称がある場合記入（　　） 窓口の専任担当　１．有（　　名）　０．無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入（ハラスメント相談窓口　　） 窓口の専任担当　（1．有（　１名）　０．無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
28. 研修プログラムの名称 （基幹型・協力型記入） プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称：函館中央病院臨床研修プログラム プログラム番号：030952901
29. 研修医の募集定員 （基幹型記入）			１年次：　６名、２年次：　６名
30. 研修医の募集及び採用の方法 （基幹型記入）	研修プログラムに関する問い合わせ先		ﾌﾘｶﾞﾅ　クボタ　オサム 氏名（姓）久保田　（名）修 所属 秘書課　役職 課長 電話：(0138) 52―1231　ＦＡＸ：(0138) 54―7520 e-mail：resident@hakochu-hp.gr.jp URL：http:// www.chubyou.com/
	資料請求先		住所 〒0 4 0 ― 8 5 8 5（ 北海　都・道・府・（県） 函館市本町 33 番 2 号 担当部門　担当者氏名　ﾌﾘｶﾞﾅ　クボタ　オサム 姓 久保田　名 修 電話：(0138) 52―1231　ＦＡＸ：(0138)　54―7520 e-mail：resident@hakochu-hp.gr.jp URL：http://www.chubyou.com/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号：030952　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） （基幹型記入）	募集方法		(1.) 公募 ２．その他（具体的に：　　）
	応募必要書類 （複数選択可）		(1.) 履歴書、(2.) 卒業(見込み)証明書、(3.) 成績証明書、 (4.) 健康診断書、５．その他(具体的に：　　)
	選考方法 （複数選択可）		(1.) 面接 ２．筆記試験 その他（具体的に：　　）
	募集及び選考の時期		募集時期：　4 月　 1 日頃から 選考時期：　7 月　26 日頃から
	マッチング利用の有無		(1.) 有　０．無
31. 研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）			概要：＊　別紙３に記入 （作成年月日：西暦　2022 年　8 月　2 日）
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊　プログラム責任者の履歴を様式２に記入 ＊　副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式２に記入			（プログラム責任者） ﾌﾘｶﾞﾅ　　カタオカ　ソロモン 氏名（姓）　片岡　／　氏名（名）　宙門 所属　役職 社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院　診療部長 （副プログラム責任者） １．有（　　名）　(0.) 無
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。			＊　別紙４に記入
34. インターネットを用いた評価システム			(1.) 有（　・EPOC2　・その他（　　）　）　０．無
35. 研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）			西暦　2024 年　4 月　1 日
36. 研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、２に〇をつけて、以下の各項目について記入してください。）		１．基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 １を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 (2.) 病院独自の処遇とする。
	常勤・非常勤の別		(1.) 常勤　２．非常勤
	研修手当		一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（460.000　円） 賞与／年（　　円） 二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（　480.000 円） 賞与／年（　　円） 時間外手当：　１．有　０．(無) 休日手当　：　１．有　０．(無)
	勤務時間		基本的な勤務時間（　9：00　～　17：00　）24 時間表記 休憩時間（　　） 時間外勤務の有無：１．有　(0.) 無
	休暇		有給休暇（１年次：　　日、２年次：　　日） 夏季休暇（１．有　(0.) 無） 年末年始（(1.) 有　０．無） その他休暇（具体的に：開院記念日特別休暇、連続休暇（3 日間）　）
	当直		回数（約　2　回／月）
	研修医の宿舎（再掲）		１．有（単身用：　　戸、世帯用：　　戸） (0.) 無（住宅手当：　60.000　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室（再掲）		(1.) 有（　1　室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
	社会保険・労働保険		公的医療保険（　北海道医療健康保険組合　） 公的年金保険（　厚生年金保険　） 労働者災害補償保険法の適用（(1.) 有　０．無） 国家・地方公務員災害補償法の適用（１．有　(0.) 無） 雇用保険（(1.) 有　０．無）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－６－

病院施設番号：030952　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理		健康診断（年　　１回） その他（具体的に　　）
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入（１．する　０．しない） 個人加入（１．強制　０．任意）
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加：１．可　０．否
			学会、研究会等への参加費用支給の有無：１．有　０．無
	院内保育所（再掲）		院内保育所の有無　（１．有　０．無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください　（　　時　　分　～　　時　　分）
			病児保育　（１．有　０．無） 夜間保育　（１．有　０．無）
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か　（１．可　０．不可）
	保育補助（再掲）		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助　（１．有　０．無）
			その他の補助（具体的に：　　）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）		休憩場所　（１．有　０．無） 授乳スペース　（１．有　０．無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）		（　　）
	研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）		１．有　０．無 窓口の名称がある場合記入（ハラスメント相談窓口　　） 窓口の専任担当　１．有（　　名）　０．無
	各種ハラスメントの相談窓口（再掲）		窓口の名称を記入（　　） 窓口の専任担当　１．有（　１名）　０．無
37. 研修医手帳（基幹型記入）			１．有　０．無
38. 連携状況（基幹型記入）			＊　様式６に記入

※欄は、記入しないこと。

（記入要領）

１　研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に〇をつけること。

２　報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「１．基幹型臨床研修病院　２.協力型臨床研修病院」の番号に〇をつけること。

３　特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の４月１日現在で作成すること。

４　既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。

５　各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。

６　（基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。

７　（１．有　０．無）のように選択形式の項目は、いずれかに〇をつけること。

８　項目番号１から 26 までについては、年次報告において記入すること。

９　研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 27 から 37 までについても記入すること。

10　※欄は、記入しないこと。

11　「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とすること。

12　「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13　「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14　「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

（１）「医療法第 21 条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成 10 年６月 26 日付け健政発第 777 号・医薬発第 574 号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。

（２）「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。

（３）「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※　換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の１週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の１週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

（４）「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。

（５）「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第 19 条第１項第１号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の１日平均とすること。）。

※　算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52\right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第 43 条の２に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

（６）当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式３に記入すること（歯科医師は記入しない。）。

15　「救急医療の提供の実績」欄について

（１）「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和 39 年厚生省令第 186 号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。

（２）「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に〇をつけるものであること。

（３）「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「１．有」に〇をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「０．無」に〇をつけること。

（４）「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、全ての件数）、「１日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（365 又は 366）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

（５）「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

（６）「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙４に記入すること。

（７）「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に〇をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16　「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17　「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。

17　「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日０時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※　算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2\text{（新入院患者数＋退院患者数）}} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

18　「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。

19　「臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況」欄について

（１）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したＣＰＣの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。

（２）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。

（３）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「１．有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「０．無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（　　）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（　　）病院」に当該病院名を記入すること。

20　「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について

（１）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「０．無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律○○円、最低○○円から最高○○円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「０円」と記入すること。）。

（２）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「０．無」に○をつけること。

21　「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について

（１）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「１．有」に○をつけ、利用できない場合には「０．無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

（２）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

22　「病歴管理体制」欄について

（１）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「１．中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「２．各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「１．文書」、電子媒体により保存している場合には「２．電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。

23　「医療安全管理体制」欄について

（１）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「１．有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「０．無」に○をつけること。

（２）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。

（３）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「１．有」に○をつけ、有さない場合には「０．無」に○をつけること。

24　「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で 1 年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。

25　「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。

26　「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。

27　「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。

28　「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、

（１）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「１．有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「０．無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「１．可」に○をし、預けることができない場合は「０．不可」に○をすること。

（２）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（３）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。

（４）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（１）～（３）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。

（５）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。「１．有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「０．無」に○をすること。

（６）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「０．無」に○をすること。

29　「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。

30　「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「１．有」を選択した場合は、EPOC かその他を選択すること。

31　「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている１年次及び２年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32　「研修医の募集及び採用の方法」欄について

（１）「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「１．公募」に〇をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに〇をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（３）「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに〇をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（４）「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。

（５）「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「１．有」に〇をし、マッチングを利用しない場合には「０．無」に〇をすること。

33　「研修医の処遇」欄について

（１）「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、２に〇をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、１に〇をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、２に〇をつけること。

（２）「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、１年次及び２年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「１．有」に、支給しない場合には「０．無」に〇をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。

（３）「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「１．有」に、ない場合には「０．無」に〇をつけること。

（４）「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、１年次及び２年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに〇をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

（５）「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

（６）「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（　　）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（　　）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに〇をつけること。

（７）「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

（８）「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに〇をつけること。

（９）「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに〇をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに〇をつけること。

7. 病院群の構成等

別表

年次報告（令和５年度プログラムの病院群）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：函館中央病院　（北海道）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
北海道	南渡島	函館中央病院 (病院施設番号:030952)		北海道	札幌		北海道大学病院 (病院施設番号:030010　)					(病院施設番号:　)		函館中央病院　臨床研修プログラム	6
				北海道	南渡島		函館渡辺病院 (病院施設番号:031134　)					(病院施設番号:　)			
				北海道	南檜山		奥尻町国民健康保険病院 (病院施設番号:031136　)					(病院施設番号:　)			
				北海道	南渡島		松前町立松前病院 (病院施設番号:034866　)					(病院施設番号:　)			
				北海道	北渡島檜山		八雲総合病院 (病院施設番号:034876　)					(病院施設番号:　)			
				北海道	南渡島		ななえ新病院 (病院施設番号:060019　)					(病院施設番号:　)			
							(病院施設番号:　)					(病院施設番号:　)			
							(病院施設番号:　)					(病院施設番号:　)			
							(病院施設番号:　)					(病院施設番号:　)			
							(病院施設番号:　)					(病院施設番号:　)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

※　該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※　病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※　当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

年次報告

別紙１

（No.1）

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和４年度開催回数８回）

病院施設番号：０３０９５２　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ　カタオカ　ソロモン 姓　片岡　名　宙門	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	診療部長	研修管理委員長 プログラム責任者 臨床研修指導医
フリガナ　ミクニ　マサヒコ 姓　三國　名　雅彦	函館渡辺病院	副理事長	研修実施責任者
フリガナ　ヤギタ　カズオ 姓　八木田　名　一雄	松前町立松前病院	病院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ　タカダ　トオル 姓　高田　名　徹	社会福祉法人函館厚生院　ななえ新病院	病院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ　ヒラノ　サトシ 姓　平野　名　聡	北海道大学病院	教授	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ　オオキタ　タケオ 姓　大北　名　健雄	おおきた内科胃腸科医院	院長	外部委員
フリガナ　モトハシ　マサトシ 姓　本橋　名　雅壽	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	病院長	臨床研修指導医
フリガナ　ササキ　ハルキ 姓　佐々木　名　春喜	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	臨床顧問	臨床研修指導医
フリガナ　コンノ　ジュン 姓　紺野　名　潤	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	副院長	臨床研修指導医
フリガナ　サイトウ　ナオタカ 姓　斉藤　名　尚孝	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	診療部長	臨床研修指導医

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

年次報告

別紙１

（No. 2）

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和４年度開催回数８回）

病院施設番号：０３０９５２　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ　ヒラグチ　エツオ 姓　平口　名　悦郎	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	診療部長	臨床研修指導医
フリガナ　イシクラ　ヒサミツ 姓　石倉　名　久光	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	科長	臨床研修指導医
フリガナ　キムラ　チュウ 姓　木村　名　中	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	診療部長	臨床研修指導医
フリガナ　イマイ　テツアキ 姓　今井　名　哲秋	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	科長	
フリガナ　ホッタ　モエコ 姓　堀田　名　萌子	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	科長	臨床研修指導医
フリガナ　スズキ　ヒデタカ 姓　鈴木　名　英孝	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	科長	
フリガナ　ハシダ　ヒデアキ 姓　橋田　名　秀明	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	科長	臨床研修指導医
フリガナ　タカノ　ムツコ 姓　高野　名　睦子	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	科長	臨床研修指導医
フリガナ　カキザキ　トモヒコ 姓　蠣崎　名　文彦	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	科長	臨床研修指導医
フリガナ　タカハシ　チヒロ 姓　高橋　名　千尋	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	科長	臨床研修指導医

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

年次報告

別紙１

（No. 3）

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和４年度開催回数８回）

病院施設番号：０３０９５２　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ　キダ　タケシ 姓　木田　名　毅	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	副院長	臨床研修指導医
フリガナ　ササキ　マナキ 姓　佐々木　名　真樹	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	科長	臨床研修指導医
フリガナ　ササキ　ユウスケ 姓　笹木　名　有佑	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	科長	臨床研修指導医
フリガナ　カナヤマ　マサヒロ 姓　金山　名　雅弘	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	副院長	
フリガナ　サトウ　カズヨシ 姓　佐藤　名　一義	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	診療部長	
フリガナ　ササキ　ヒデナオ 姓　佐々木　名　秀直	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	名誉臨床顧問	
フリガナ　ヨシダ　ユキヒロ 姓　吉田　名　幸宏	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	科長	
フリガナ　タキカワ　サトシ 姓　瀧川　名　聰	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	診療部長	臨床研修指導医
フリガナ　ツジ　ツカサ 姓　辻　名　司	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	科長	
フリガナ　ツジ　シゲル 姓　辻　名　繁	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	病院長補佐	

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

年次報告

別紙１

（No. 4）

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和４年度開催回数８回）

病院施設番号：０３０９５２　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ　ミズシマ　タカユキ 姓　水島　名　貴之	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	事務部長	
フリガナ　カワブチ　ユカリ 姓　川渕　名　ゆかり	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	看護部長	
フリガナ　クメ　ヒロコ 姓　久米　名　央子	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	薬剤部長	
フリガナ　オオイ　マサト 姓　大井　名　雅人	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	診療協力部管理担当部長	
フリガナ　ジョウトク　マサヒロ 姓　常徳　名　正洋	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	放射線科技師長	
フリガナ　ハネカワ　タツヒト 姓　羽根川　名　立人	社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院	検査科技師長	
フリガナ　イシダ　ヒロヒデ 姓　石田　名　博英	八雲総合病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ　イズミサト　ツヨトシ 姓　泉里　名　豪俊	奥尻町国民健康保険病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ 姓　名			
フリガナ 姓　名			

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 函館中央病院

病院施設番号： ０３０９５２

区分	内科	救急部門	外科	麻酔科（部門）	小児科	産婦人科	又は 産科	又は 婦人科	精神科	病院で定めた必修科目の診療科			その他の研修を行う診療科 整形外科	形成外科	脳神経外科	合計
年間入院患者実数 （）内は救急件数又は分娩件数	2060	（ 5713 ）	581	0	1678	1323 (551)	（ ）						1660	535	250	
年間新外来患者数	4490		1359	264	3151	1767			155				5728	2233	795	
１日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	122.8 （ 117 ）	（ ）	27.2 （ 293 ）	16.5 (293)	88.3 (293)	（ ）	（ ）	（ ）	2.8 (293)	（ ）	（ ）	（ ）	145.5 (293)	35.4 (293)	7.8 (293)	
平均在院日数	12.1		15.1		10.1	8.0							23.7	12.2	19.9	
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	15 (5)	（ ）	6 (3)	4 (1)	14 (4)	6 (2)	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	15 (2)	4 (1)	2 (1)	（ ）

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「１日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 函館中央病院

病院施設番号： ０３０９５２

区分	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	その他の研修を行う診療科								合計
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	69	66	733	229	435		( )								9619
年間新外来患者数	278	2210	806	799	2177	697									26909
１日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	12.6 (293)	51.4 (293)	21.7 (293)	24.7 (293)	39.0 (293)	2.4 (293)	( )	( )		( )	( )	( )	( )	( )	
平均在院日数	24.3	12.9	2.7	2.7	8.4										
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	3 (1)	2 (1)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (2)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	77 (23)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「１日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和４年度分）														
								臨床研修病院の名称： 函館中央病院						
								病院施設番号：０３０９５２						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	内科	1	2	1	1		1	2	1	2	1	2	2	
北海道大学病院	内科	1	1			1	1						1	1
八雲総合病院	内科													
	内科　計	2	3	1	1	1	2	2	1	2	1	2	3	1
函館中央病院	救急部門			1	1	1	1				1	1	1	1
北海道大学病院	救急部門									1	1			
	救急部門　計			1	1	1	1			1	2	1	1	1
函館中央病院	麻酔科					1		1						
北海道大学病院	麻酔科											1		
	麻酔科　計					1		1				1		

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和４年度分）	臨床研修病院の名称： 函館中央病院 病院施設番号：０３０９５２

基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	外科				1									1
北海道大学病院	外科			1										
	外科　計			1	1									1
函館中央病院	小児科								1		1			
北海道大学病院	小児科								1					
国立病院機構函館病院	小児科													
	小児科　計								2		1			
函館中央病院	産婦人科	1												1
北海道大学病院	産婦人科							1						
国立病院機構函館病院	産婦人科													
	産婦人科　計	1						1						1

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和４年度分）															臨床研修病院の名称: 函館渡辺病院 病院施設番号：０３１１３４
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	精神科		1	1											
北海道大学病院	精神科				1										
	精神科　計		1	1	1										

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和４年度分）														
								臨床研修病院の名称： 松前町立松前病院						
								病院施設番号：０３４８６８						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	地域医療					1								
北海道大学病院	地域医療													
	地域医療　計					1								

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和４年度分）															臨床研修病院の名称：ななえ新病院 病院施設番号：０３４８６８
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	地域医療			1			1					1			
北海道大学病院	地域医療														
	地域医療　計			1			1					1			

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和４年度分）														
								臨床研修病院の名称：八雲総合病院						
								病院施設番号：０３４８７６						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	精神科													
北海道大学病院	精神科													
	精神科　計													
函館中央病院	地域医療													
北海道大学病院	地域医療													
	地域医療　計													

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和４年度分）															臨床研修病院の名称：奥尻町国民健康保険病院 病院施設番号：０３１１３６
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	地域医療														
北海道大学病院	地域医療														
	地域医療　計														

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和４年度分）															臨床研修病院の名称：函館陵北病院 病院施設番号：０３１１３６
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	総合診療科														
	総合診療　計														

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含め

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和５年度分）														
								臨床研修病院の名称：函館中央病院						
								病院施設番号：０３０９５２						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	内科	2	2	1	1	1	1	3	2	1	1	2	2	
北海道大学病院	内科	1	1	1	1	1	1							
八雲総合病院	内科								1	1	1	1	1	
	内科　計	3	3	2	2	2	2	3	3	2	2	3	3	0
函館中央病院	救急部門	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
北海道大学病院	救急部門								1	1				
	救急部門　計	1		1	1	1	1	1		2	1	1	1	
函館中央病院	麻酔科		1		1		1				1		1	
北海道大学病院	麻酔科													
	麻酔科　計		1		1		1				1		1	

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含め

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和５年度分）														
								臨床研修病院の名称：函館中央病院						
								病院施設番号：０３０９５２						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	外科	1	1			1	1		1		1		1	
北海道大学病院	外科													
	外科　計					1	1		1		1		1	
函館中央病院	小児科						1	1		1		1		
北海道大学病院	小児科													
国立病院機構函館病院	小児科					1								
	小児科　計					1	1	1		1		1		
函館中央病院	産婦人科	1		1	1			1		1				
北海道大学病院	産婦人科													
国立病院機構函館病院	産婦人科													
	産婦人科　計	1		1	1			1		1				

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和５年度分）															臨床研修病院の名称：函館渡辺病院 病院施設番号：０３１１３４
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	精神科		1	1	1				1		1				
北海道大学病院	精神科														
	精神科　計		1	1	1				1		1				

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和５年度分）															臨床研修病院の名称：松前町立松前病院 病院施設番号：０３４８６８
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	地域医療							1							
北海道大学病院	地域医療														
	地域医療　計							1							

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和５年度分）															臨床研修病院の名称：ななえ新病院 病院施設番号：０３４８６８
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	地域医療								1						
北海道大学病院	地域医療														
	地域医療　計								1						

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和５年度分）														
								臨床研修病院の名称：八雲総合病院						
								病院施設番号：０３４８７６						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	精神科													
北海道大学病院	精神科													
	精神科　計													
函館中央病院	地域医療													
北海道大学病院	地域医療													
	地域医療　計													

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和５年度分）														
								臨床研修病院の名称：奥尻町国民健康保険病院						
								病院施設番号：０３１１３６						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	地域医療													
北海道大学病院	地域医療													
	地域医療　計													

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和５年度分）															臨床研修病院の名称：市立函館保健所 病院施設番号：
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	保健・医療行政														
	保険・医療行政計														

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含め

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和５年度分）															臨床研修病院の名称：　渡島保健所 病院施設番号：
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	保健・医療行政														
	保険・医療行政計														

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含め

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和６年度分）														
								臨床研修病院の名称：函館中央病院						
								病院施設番号：０３０９５２						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	内科	1	2	3	4	5	6	5	4	3	2	1		
北海道大学病院	内科													
八雲総合病院	内科													
	内科　計	1	2	3	4	5	6	5	4	3	2	1		
函館中央病院	救急部門					1	3	3	3	3	3	1		
北海道大学病院	救急部門													
	救急部門　計					1	3	3	3	3	3	1		
函館中央病院	麻酔科	1								1	1	1	1	1
北海道大学病院	麻酔科													
	麻酔科　計	1								1	1	1	1	1

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含め

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和６年度分）															臨床研修病院の名称：函館中央病院 病院施設番号：０３０９５２
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	外科	1	1								1	1	1	1	
北海道大学病院	外科														
	外科　計	1	1								1	1	1	1	
函館中央病院	小児科	1	1	1								1	1	1	
北海道大学病院	小児科														
国立病院機構函館病院	小児科														
	小児科　計	1	1	1								1	1	1	
函館中央病院	産婦人科	1	1	1	1								1	1	
北海道大学病院	産婦人科														
国立病院機構函館病院	産婦人科														
	産婦人科　計	1	1	1	1								1	1	

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和６年度分）															臨床研修病院の名称：函館渡辺病院 病院施設番号：０３１１３４
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	精神科	1	1	1	1	1								1	
北海道大学病院	精神科														
	精神科　計	1	1	1	1	1								1	

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和６年度分）															臨床研修病院の名称：松前町立松前病院 病院施設番号：０３４８６８
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	地域医療	1	1	1	1	1									
	地域医療　計	1	1	1	1	1									

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和６年度分）														
								臨床研修病院の名称：ななえ新病院						
								病院施設番号：０３４８６８						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	地域医療													
	地域医療　計													

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和６年度分）	臨床研修病院の名称：八雲総合病院 病院施設番号：０３４８７６

基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	精神科													
北海道大学病院	精神科													
	精神科　計													
函館中央病院	地域医療													
	地域医療　計													

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和６年度分）															臨床研修病院の名称：奥尻町国民健康保険病院 病院施設番号：０３１１３６
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	地域医療														
	地域医療　計														

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和６年度分）															臨床研修病院の名称：函館稜北病院 病院施設番号：０３１１３６
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	総合診療科														
	総合診療　計														

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含め

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和６年度分）															臨床研修病院の名称：市立函館保健所 病院施設番号：
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	保健・医療行政														
	保険・医療行政計														

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含め

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和６年度分）															臨床研修病院の名称：　渡島保健所 病院施設番号：
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	保健・医療行政														
	保険・医療行政計														

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含め

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和７年度分）														
								臨床研修病院の名称：函館中央病院						
								病院施設番号：０３０９５２						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	内科	1	2	3	4	5	6	5	4	3	2	1		
北海道大学病院	内科													
八雲総合病院	内科													
	内科　計	1	2	3	4	5	6	5	4	3	2	1		
函館中央病院	救急部門					1	3	3	3	3	3	1		
北海道大学病院	救急部門													
	救急部門　計					1	3	3	3	3	3	1		
函館中央病院	麻酔科	1								1	1	1	1	1
北海道大学病院	麻酔科													
	麻酔科　計	1								1	1	1	1	1

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含め

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和７年度分）														
								臨床研修病院の名称：函館中央病院						
								病院施設番号：０３０９５２						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	外科	1	1								1	1	1	1
北海道大学病院	外科													
	外科　計	1	1								1	1	1	1
函館中央病院	小児科	1	1	1								1	1	1
北海道大学病院	小児科													
国立病院機構函館病院	小児科													
	小児科　計	1	1	1								1	1	1
函館中央病院	産婦人科	1	1	1	1								1	1
北海道大学病院	産婦人科													
国立病院機構函館病院	産婦人科													
	産婦人科　計	1	1	1	1								1	1

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和７年度分）															臨床研修病院の名称：函館渡辺病院 病院施設番号：０３１１３４
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	精神科	1	1	1	1	1								1	
北海道大学病院	精神科														
	精神科　計	1	1	1	1	1								1	

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和７年度分）															臨床研修病院の名称：松前町立松前病院 病院施設番号：０３４８６８
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	地域医療	1	1	1	1	1									
	地域医療　計	1	1	1	1	1									

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和７年度分）														
								臨床研修病院の名称：ななえ新病院						
								病院施設番号：０３４８６８						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	地域医療													
	地域医療　計													

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和７年度分）														
								臨床研修病院の名称：八雲総合病院						
								病院施設番号：０３４８７６						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	精神科													
北海道大学病院	精神科													
	精神科　計													
函館中央病院	地域医療													
	地域医療　計													

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和７年度分）															臨床研修病院の名称：奥尻町国民健康保険病院 病院施設番号：０３１１３６
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	地域医療														
	地域医療　計														

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和７年度分）														
								臨床研修病院の名称：函館稜北病院						
								病院施設番号：０３１１３６						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館中央病院	総合診療科													
	総合診療　計													

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含め

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和７年度分）															臨床研修病院の名称：市立函館保健所 病院施設番号：
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	保健・医療行政														
	保険・医療行政計														

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含め

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和７年度分）															臨床研修病院の名称：　渡島保健所 病院施設番号：
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
函館中央病院	保健・医療行政														
	保険・医療行政計														

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含め

２９．研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：　０３０９５２９０１

病院施設番号：　０３０９５２　　臨床研修病院の名称：　社会福祉法人函館厚生院　函館中央病院

臨床研修病院群番号：　０３０９５２７　　臨床研修病院群名：　函館中央病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

１．研修プログラムの名称	函館中央病院臨床研修プログラム
２．研修プログラムの特色	厚生労働省のカリキュラムを最低限の研修内容とし、研修医各自の研修希望・目標に配慮し、個別的内容を付加したプログラムを設定する研修方法である。当院は、地域の第一線の一般臨床病院であり、疾患領域も偏ることなく、豊富な症例を通じて、急性疾患から慢性疾患まで、多岐にわたる臨床研修ができるプログラムとなっている。
３．臨床研修の目標の概要	どのような専門分野に進むにせよ、外来・病棟・救急各部門の診療ができる資質を備えた総合臨床医（General Physician）を２年間で育成することを最大の目的とする。
４．研修期間	（　２　）年　（原則として、「２年」と記入してください。）
備考	研修後そのまま専門研修に入り３年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 当院正職員として、内科系・外科系・小児科において３年目からの後期研修が可能であり、また、その他の診療科に所属することも可能である。

５．臨床研修を行う分野

研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）

＊　同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。

＊　研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。

＊　選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。

		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
（記入例）　ｘｘ科		1234567	○○　病院	○週	○週
必修科目・分野	内科	030952	函館中央病院	２４週	一般外来 0.7 週 在宅診療 0.2 週
	救急部門	030952	函館中央病院	１２週	
	地域医療	034868	松前町立松前病院	４週	一般外来 2.2 週 在宅診療 0.2 週
		060019	ななえ新病院		
		034876	八雲総合病院		
		031136	奥尻町国民健康保険病院		
	外科	030952	函館中央病院	４週	週
	小児科	030952	函館中央病院	４週	１．１週
	産婦人科	030952	函館中央病院	４週	
	精神科	031134	函館渡辺病院	４週	
		034876	八雲総合病院		
	一般外来			週	
病院で定めた	麻酔科	030952	函館中央病院	４週	週
				週	週

	必修科目				週	週
	選択科目	内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、腫瘍内科、脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科	030952	函館中央病院	４４週	週
		内科Ⅰ、内科Ⅱ、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、消化器外科Ⅰ、消化器外科Ⅱ、循環器・呼吸器外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科、形成外科、スポーツ医学診療科、乳腺外科、救急科、神経内科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、精神科神経科、脳神経外科、リハビリテーション科、産科、婦人科、小児科、放射線治療科、放射線診断科、核医学診療科、病理診断科	030010	北海道大学病院		
		精神科	031134	函館渡辺病院		
		精神科	034876	八雲総合病院		
		保健・医療行政		市立函館保健所		
		保健・医療行政		北海道渡島保健所		

	備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低５２週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大４週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。 研修プログラムに規定された４週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約４４回 救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・４週 ※但し、４週を上限とする 一般外来の研修を行う診療科・・・内科、小児科、地域医療 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること CPC 実施施設：函館中央病院 ① 内科研修は、１年次に２４週（糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科を各８週）とする。 ②救急部門研修は、麻酔科（ICU）における挿管・血管確保などの基本手技の修得（８週の内４週）および救急外来（当直）における初期救急医療の現場体験（２年間を通しての輪番日におけるローテーションにて８週分）とする。 ③精神科研修は、協力型病院（函館渡辺病院、八雲総合病院）にて行う。 ④一般外来研修は、内科（１年次の内科）および小児科研修時に並行研修にて行い、２年次の地域医療研修時に協力型病院（松前町立松前病院、ななえ新病院、八雲総合病院、奥尻町国民健康保険病院）にて行い達成する。 ⑤在宅医療研修は、内科および地域医療研修時に達成する。 ⑥選択科目研修は、選択科目により協力型病院（北海道大学病院、函館渡辺病院、八雲総合病院、函館稜北病院）と協力型施設（市立函館保健所、渡島保健所）と協力して研修を実施する。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： ０３０９５２	臨床研修病院の名称: 社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院
	臨床研修病院群番号： ０３０９５２７	臨床研修病院群名: 函館中央病院群

６．研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）　　プログラム番号　函館中央病院臨床研修プログラム

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１　　(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
凡例　○×病院（○×○×○×）	内科	5												
凡例　▲■病院（▲■▲■▲■）	外科	3												
凡例　△□病院（△□△□△□）	外科			3										
函館中央病院（030952）	内科（内科、消化器内科、循環器内科）	1	2	3	4	5	6	5	4	3	2	1	0	0
函館中央病院（030952）	救急部門							1	2	2	2	2	2	1
函館中央病院（030952）	麻酔科	1								1	1	1	1	1
函館中央病院（030952）	小児科	1	1	1								1	1	1
函館中央病院（030952）	外科	1	1								1	1	1	1
函館中央病院（030952）	産婦人科	1	1	1	1								1	1

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： ０３０９５２	臨床研修病院の名称: 社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院
	臨床研修病院群番号： ０３０９５２７	臨床研修病院群名: 函館中央病院群

６．研修スケジュール （一年次・二年次：いずれかに○）　　プログラム番号　函館中央病院臨床研修プログラム

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１　　(No. 2)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
函館渡辺病院（031134）	精神科	1	1	1	1	1								1
八雲総合病院（034876）														

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： ０３０９５２	臨床研修病院の名称: 社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院
	臨床研修病院群番号： ０３０９５２７	臨床研修病院群名: 函館中央病院群

６．研修スケジュール（一年次・二年次: いずれかに○）

プログラム番号　函館中央病院臨床研修プログラム

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
松前町立松前病院（034868）	地域医療	1	1	1	1	1	1							
ななえ新病院（060019）														
八雲総合病院（034876）														
奥尻町国民健康保険病院（031136）														
函館中央病院（030952）	救急部門								1	1	1	1	1	1
函館中央病院（030952）	選択科目	5	5	5	5	5	5	6	5	5	5	5	5	5
北海道大学病院（030010）														
函館渡辺病院（031134）														
八雲総合病院（034876）														
市立函館保健所														
渡島保健所														

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：　０３０９５２　　臨床研修病院の名称：　函館中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医（指導医）
産婦人科	片岡　宙門	函館中央病院	診療部長	29	○	北海道医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本産科婦人科学会専門医　他	030952801 030952901	1，3，4
心臓血管外科	本橋　雅壽	函館中央病院	病院長	39	○	全日本病院協会 臨床研修指導医講習会受講 日本胸部外科学会認定医　他	030952801 030952901	4
内科	佐々木　春喜	函館中央病院	臨床顧問	45	○	臨床研修協議会 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者養成講習会受講 文部科学省・厚生労働省 医学教育者のためのﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本内科学会認定総合内科専門医　他	030952801 030952901	4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：　０３０９５２　　臨床研修病院の名称：　函館中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科	児嶋　哲文	函館中央病院	臨床顧問	44	○	北海道医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本外科学会指導医　他	030952801 030952901	4
形成外科	木村　中	函館中央病院	診療部長	38	○	北海道・北海道医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本形成外科学会専門医　他	030952801 030952901	4
内科	清水　平	函館中央病院	科長	17	○	北海道大学病院 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本プライマリ・ケア連合学会指導医　他	030952801 030952901	4
循環器内科	浅島　弘志	函館中央病院	嘱託医	38	○	北海道大学病院 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本循環器学会認定循環器専門医　他	030952801 030952901	4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：　０３０９５２　　臨床研修病院の名称：　函館中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
小児科	水上　晋	函館中央病院	嘱託医	38	○	北海道・北海道医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本小児科学会専門医　他	030952801 030952901	4
泌尿器科	鈴木　英孝	函館中央病院	科長	16	×	日本泌尿器科学会指導医　他	030952801 030952901	
小児科	佐々木　真樹	函館中央病院	科長	32	○	北海道大学病院 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講	030952801 030952901	4
皮膚科	堀田　萌子	函館中央病院	科長	10	○	北海道・北海道医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本皮膚科学会専門医	030952801 030952901	4
消化器内科	紺野　潤	函館中央病院	副院長	36	○	北海道大学病院 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本消化器内視鏡学会指導医 他	030952801 030952901	4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：　０３０９５２　　臨床研修病院の名称：　函館中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科	平口　悦郎	函館中央病院	診療部長	35	○	北海道医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本外科学会指導医　他	030952801 030952901	4
整形外科	石倉　久光	函館中央病院	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科長	28	○	北海道・北海道医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本整形外科学会専門医	030952801 030952901	4
脳神経外科	竹田　誠	函館中央病院	嘱託医	36	○	日本医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本脳神経外科学会認定専門医 他	030952801 030952901	4
放射線科	藤田　信行	函館中央病院	臨床顧問	48	○	日本医師会 臨床研修・臨床実習指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本医学放射線学会専門医　他	030952801 030952901	4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：　０３０９５２　　臨床研修病院の名称：　函館中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医（指導医）
放射線科	高橋　千尋	函館中央病院	科長	33	○	日本医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 放射線診断専門医　他	030952801 030952901	4
整形外科	塩田　浩平	函館中央病院	医長	8	○	日本医科大学臨床研修指導医教育ワークショップ受講	030952801 030952901	4
小児科	木田　毅	函館中央病院	副院長	37	○	北海道・北海道医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講	030952801 030952901	4
麻酔科 救急	瀧川　聰	函館中央病院	診療部長	29	○	北海道医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本麻酔科学会指導医　他	030952801 030952901	4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：　０３０９５２　　臨床研修病院の名称：　函館中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医（指導医）
産婦人科	田沼　史恵	函館中央病院	科長	23	○	北海道医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本産科婦人科学会専門医　他	030952801 030952901	4
腫瘍内科	笹木　有佑	函館中央病院	科長	15	×	日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医　他	030952801 030952901	
神経内科	佐々木　秀直	函館中央病院	名誉臨床顧問	44	×	日本神経学会認定神経内科専門医　他	030952801 030952901	
小児科	佐々木　吉明	函館中央病院	医長	28	○	北海度厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医ワークショップ受講	030952801 030952901	4
循環器内科	斉藤　尚孝	函館中央病院	診療部長	32	○	北海道医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本内科学会認定総合内科専門医　他	030952801 030952901	4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：　０３０９５２　　臨床研修病院の名称：　函館中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医（指導医）
精神科	高田　和彦	函館渡辺病院	医員	41	○	日本精神科病院協会 臨床研修指導医養成研修受講 精神保健指定医	030952801 030952901	4
病理	外丸　詩野	北海道大学病院	准教授	29	×	日本病理学会研修指導医　他	030952801 030952901	
地域医療	八木田　一雄	松前町立 松前病院	病院長	28	○	全国自治体病院協議会 新臨床研修指導医養成講習会受講 日本プライマリ・ケア連合学会指導医　他	030952801 030952901	3，4
地域医療	高田　徹	ななえ新病院	病院長	45	○	全日本病院協会 臨床研修指導医講習会受講 日本循環器学会認定循環器専門医　他	030952801 030952901	3，4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：　０３０９５２　　臨床研修病院の名称：　函館中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 １　プログラム責任者 ２　副プログラム責任者 ３ 研修実施責任者 ４ 臨床研修指導医（指導医）
地域医療 保健・医療 行政 整形外科	下出　和美	八雲総合病院	人工関節ｾﾝﾀｰ長	25	○	臨床研修協議会 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者養成講習会受講 北海道・北海道医師会 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本整形外科学会専門医　他	030952801 030952901	4
精神科	熊谷　輝	八雲総合病院	医師	44	○	弘前大学医学部附属病院 卒後臨床研修教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本精神神経学会専門医　他	030952801 030952901	4
地域医療	泉里　豪俊	奥尻町国民健康保険病院	院長	19	○	全国自治体病院協議会 臨床研修指導医養成講習会受講 日本外科学会専門医	030952801 030952901	3，4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：　０３０９５２　　臨床研修病院の名称：　函館中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科	平野　聡	北海道大学病院	教授	34	○	臨床研修協議会 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者養成講習会受講 北海道大学病院 指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ受講 日本外科学会指導医　他	030952801 030952901	3，4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。